

10月3日(土)～4日(日) 佐見地区



飯南の秋を満喫 姉妹都市交流イベント

姉妹都市 兵庫県伊丹市の市民と地域住民による、稲刈り交流が行われました。春の田植え交流に続いて20人が来町。ヤマメのつかみ取りや栗拾い、里芋やネギの収穫体験のほか、星空観察などで田舎の自然を満喫。

稲刈り体験では、地域住民に教わりながら鎌で稲を刈り、みんなで秋の収穫を喜びました。



一束ずつ丁寧に刈り取りました

9月27日(日) 来島交流センター



みんなの力で来島を盛り上げる みんきじカーニバル

来島地区の地域づくりに取り組む来島ビジョン推進会議主催の「みんきじカーニバル」が開催されました。

赤来中の生徒が、卒業研究の一環として郷土料理を販売したほか、地域住民による趣味や特技を活かしたブースがずらりと並びました。クレープやラーメンなど、町外人気店の出店もあり、大勢の親子連れで賑わいました。



子どもたちは草花を使った美術造形教室やプラモデルづくりに夢中

9月25日(金) 役場本庁舎駐車場周辺



スポーツ少年団が交通安全を呼びかけ 運転マナーアップ作戦

秋の全国交通安全運動にあわせて、スポーツ少年団「飯南ワイルドボアーズ」が、交通安全を呼びかけました。特産品であるリンゴ(アップル)と運転マナーアップを掛けた「マナーアップ作戦」と題し、平成17年から行われている交通安全啓発活動。飯南ワイルドボアーズのメンバーが、国道54号を通行する車にリンゴや啓発チラシなどを手渡しました。



元気いっぱいの声掛けに運転手にも笑みが溢れます

9月12日(土)～9月13日(日) ふれあいホールみせん



会場に響く叫び声 お化け屋敷「ふえふの館」

とんぼ探検隊ふえふ実行委員会主催のお化け屋敷「ふえふの館」が開催されました。

ホール全体を使い、様々な演出が仕掛けられたお化け屋敷。来場者は、次に何が起こるか分からない恐怖に怯えていました。来場した小学生は、お化けの迫真の演技に悲鳴を上げながらも「仕掛けを作るのも楽しそう。来年はお化け役もしてみたい」と話していました。



設営から準備役まで有志の皆さんが大活躍

10月4日(日) 赤名地区



銀を運んだ道を訪ねる 銀山街道ウォーキング

赤名地域まちづくり連絡会が主催する秋の恒例イベント「銀山街道ウォーキング」が開催されました。

第20回を迎えた今年は、街道の難所赤名峠を歩く「銀山街道ウォーキング」と、「衣掛山、武名ヶ平山周遊登山ルート」の2コースを設定。約80人の参加者は、地元ガイドの話を聞きながら、街道の歴史と空気を感じて散策を楽しみました。



熱心にガイドの解説に耳を傾ける参加者たち

10月4日(日) 獅子地区



共に喜ぶ収穫の秋 獅子地区田舎体験

島根大学生物資源科学部の学生と地域住民が、稲刈りを通して交流しました。

田植えや草刈り体験に続き、今年度3回目となる交流。田んぼには黄金色の稲穂が実り、その光景に歓声が上がりました。参加した学生の大半にとって、鎌を手に稲を刈るのは初めての体験。ずっしりとした稲穂を手に、収穫の達成感を味わいました。



鎌の使い方を教わりながら刈り取りました

9月26日(土) 志々トレーニングセンター



志々小への感謝を込めて 志々地区合同体育大会

志々小閉校に伴い、志々小として臨む最後の志々地区合同体育大会が開催されました。

今回は記念大会として、これまでの志々小での思い出を大声で叫ぶ「やまびこ合戦」や校舎を描いた壁画のお披露目が行われるなど、特別企画を実施。幅広い世代の大勢の人が参加し、長く続いた志々小への感謝を分かち合う大会となりました。



最後に記念撮影大会が盛んに締めくくられました

9月25日(金) 三次市



新たな交流の場が誕生 産直市「おいでえや870」がオープン

飯南町の野菜や特産品を販売する産直市「おいでえや870」が、(株)はなわの運営で三次市にオープンしました。場所は、3月まで交流物産館「iまるシェ」として親しまれた、ゆめマート三次東店に隣接する店舗。オープン当日には生鮮野菜がずらりと並び、多くの人が来店。まちの特産品を広めたり、生産者と消費者が交流したりする場として活用されます。



新鮮な野菜などをじっくり見ながら買い物する来店客